

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和 元年 12 月 10日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3490100447		
法人名	社会福祉法人広島光明学園		
事業所名	グループホーム高陽荘		
所在地	広島市安佐北区深川8丁目36-7 (電話) 082-841-0511		
自己評価作成日	令和元年11月11日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_022_kani=true&JigyosyoCd=3490100447-00&ServiceCd=320&Type=search
-------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	一般社団法人広島県シルバーサービス振興会
所在地	広島市南区皆実町一丁目6-29
訪問調査日	令和元年12月4日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

自然に囲まれた生活の中で隣接施設との交流を持ちボランティアを含めた行事参加を積極的に行っている。入居者様の機能を活かしお手伝いやレクリエーションで個々の生活を大事にしている。排泄は入居者様の排泄リズムを観察、把握し、トイレでの自立を目指しオムツ外しに取り組んでいる。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

基本理念「三宝一如」「本物をやろう」を掲げ、職員が内外部研修、勉強会に積極的に参加している。毎日の細かな気づきを個別ケアチェックシートに記録して、それを基に利用者一人ひとりの出来る事をプランに活かし、自立に向けての支援を行っている。利用者の笑顔を職員の喜びとして、毎日の生活が楽しく、仲良く過ごして頂けるよう取り組んでいる。看取りはしていないが、協力病院や訪問看護事業所などと連携を密にし、事業所で出来る最大限の医療が受けられる協力体制が整っている。災害時対策も地域住民の協力が得られるよう日頃から交流を深めている。

自己評価	外部評価	項目(もみじ)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	理念を共有し、管理者・職員は情報を周知し、サービスの提供を実践している。	「三宝一如」「本物をやろう」を基本理念と掲げ、職員が共有し、高齢者、子供、地域を大切に思い、利用者・家族の意向に沿ったケアを目指している。日々の関わりの中から、仲良く、楽しくサービスが提供出来るよう実践に繋げている。「外出したい」要望があり、外出できる機会が増やせるよう取り組んでいる。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	入居者が地域行事に参加したりイベントを企画するなど利用者の積極的な参加とつながりを深め、地域の一員として日常的に交流している。	地域行事のとんど祭りに参加したり、事業所の企画である子供神楽は、チラシを配布するなどして他グループホームや地域住民の方々も楽しみにして来訪される。ボランティアの方々の来訪、傾聴、法話、絵画教室、幼稚園児の運動会、田植え、敬老会には園児の手作り作品のプレゼントなど世代を超えた交流もある。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	介護者教室をはじめ、地域の方や入居者の家族と交流の場を設け認知症の理解などに向けて活用している。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	家族の要望や地域包括支援センターや地域の助言、現場の介護者の意見を出し合い、現状を分析と評価を行うことで個々にあったサービスの向上に活かしている。	入居者、家族代表、地域包括支援センター、地域代表、民生委員の参加がある。活動・状況報告等、会議が貴重な意見交換の場となっている。中で「外出したい」「ヒヤリハット・事故報告を分かりやすく」外出は行事の中に組み入れ、ヒヤリハットは図形化する事でわかりやすくなり、反映・改善に活かしている。	
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	行事や入居者の方々の近況のわかる情報誌を作成しておりご家族の方や地域の方々との協力関係を築くように取り組んでいる。	情報誌を作成配布、困り事の相談、研修に参加している。又、空き状況確認や公民館イベント企画など日頃から連絡を密に取り、良好な協力関係が築けるよう尽力されている。	

自己評価	外部評価	項目(もみじ)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	入居者一人一人の個別ケアと拘束のないケアを行っている。職員間で拘束の勉強会で知識を深め拘束のないケアに取り組んでいる。	身体拘束委員会を設置し、毎月、勉強会を開催し、職員間で周知している。「言葉かけや声掛けで行動を静止しない」「開放的でしたい事が出来る」など身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることのないよう注意を払い、防止に努めている。	職員間での意思と介助の質の統一をし、入居者の状態をしっかりと申し送ることによって虐待防止に努めている。また定期的な勉強会を開き意識を高め事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い防止に努めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	職員は、勉強会や研修を通して制度や知識の向上と習熟に努めており、ご家族や入居者様の必要な支援を行っている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	家族にはグループホームと他施設との違いなどをしっかり説明し質問・疑問に答え、ご理解、納得を図っている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	職員間や地域包括支援センター事業所・訪問看護と連携をとり個別のケアを行っているが、担当者会議や、面会時に家族の要望も確認し家族に事故防止や健康維持の観点からご理解をして頂きケアに取り入れ運営に反映させている。	日常的な関わりの中から、家族には面会時に状況報告をする中で、意向や要望を投げかけ聴き取るようにしている。その中で昔のドラマ(水戸黄門など)を観たい要望があり、DVDを見る機会を設け喜ばれた。	

自己評価	外部評価	項目(もみじ)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>職員間でケアの内容と質の統一を行い常に意見を出し合い提案を反映させている。</p>	<p>職員面談は改めて設けてはない。毎日の業務や食事の時など話しやすい環境で意見を聞くようにしている。又、朝礼の時、勤務の関係上2回に分けて、全職員から出た提案や意見の話が聞けるよう機会を設けている。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>職員間で休日を融通しあい身体、生活ともに負担の少ない職場になるように心がけ働きやすい場として休憩を現場から離れて行い環境、整備に努めている。</p>		
13		<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	<p>それぞれの職員が様々なテーマの研修に参加し、その内容を勉強会や会議で共有し知識を深めていきながらトレーニングを進めている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。</p>	<p>施設の近況のわかる情報誌を作成して配布し、他の施設の広報誌を読んだりして情報交換に努めている。また行事への招待も行き交流を深め情報交換を行いサービスの質の向上の取り組みをしている。</p>		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。</p>	<p>積極的に入居者に会話し要望を聞くだけでなく、日々の過ごし方や生活リズムを観察し介護士からのアプローチを行うことで信頼関係を築くように努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目(もみじ)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。</p>	<p>家族の方の話を聞く時間を十分に設け、その要望や不安の解消に努めている。また職員からもご家族へ適切なアドバイスや話をすることで信頼関係の構築に努めている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	<p>職員間で情報を共有して統一したケアを行いより入居者に合ったケアを模索し訪問歯科や訪問鍼灸院を含めた対応に努めている。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。</p>	<p>職員と入居者で一緒に事業所内の家事を行い、生活を共にする印象をもって信頼できる関係を築いている。</p>		
19		<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。</p>	<p>家族の方にも入居者の状態や変化があれば細かく伝え、家族も常に最新の情報を持てるよう努めている。またその上で家族も関わられるようなケア内容になるよう配慮しながら関係を築いている。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p>	<p>プライバシー保護のための守秘義務を保持し家族、友人には面会に来やすい環境が持てるよう信頼関係の構築に努めている。またより外出や外泊がしやすい環境の整備に努め家族関係を良好な関係になるよう支援に努めている。</p>	<p>外出、外泊は難しくなっているが、家族の協力を頂きながら、外食や墓参りに出掛けたり、階下の特別養護老人ホームの知人に面会に行くなど馴染みの人や場との関係が継続出来るよう支援に努めている。</p>	

自己評価	外部評価	項目(もみじ)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	レクリエーションや行事だけでなく日々の生活の中で家事のお手伝いや共有スペースで過ごす時間を多く持つようにし、入居者同士で話をしながら良好な関係を築けるように努めている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	退所後の状態や情報を確認し、必要な情報や助言を家族や関連機関に伝えられるよう情報共有を行い支援に努めている。		

Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	様々なレクリエーションや行事の参加でその都度表情などから入居者の好きなことを感じ取れるように心がけている。他の事にも興味を持ちより多くの事を好きになって楽しく過ごして頂けるように本人と一緒に検討している。	生活歴やアセスメントの中から、思いや意向を把握している。日々の生活の中や行事開催の時に見られる、笑顔や表情から好きな物や趣味など感じ取る事ができ、プランの見直しに反映されている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	入居者と絶えず会話し、その中からどんな体験をし、どういう仕事をしていたのかなどこれまでの生活歴を把握し職員で共有するように努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	入居者のペースに合わせ、寄り添いながら適時適切なフォローを行い現状把握に努めている。		

自己評価	外部評価	項目(もみじ)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>入居者のできることを職員間で把握し、共通した介護ができるよう取り組んでいる。課題があればすぐに話し合い、本人の思いを反映したりできることを盛り込みご家族そして多職種と連携を図り介護計画を作成している。</p>	<p>個別に毎日の気づきをケアチェックシートに記入し、毎日のモニタリングで振り返りを行い分かりやすく記録、職員が共有出来る仕組みになっている。又、その中から出来る事、得意な事を導き出しプランに活かされている。半年に1回見直しを行い、現状に即したプランを作成している。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>気づきノートを作りそれを活用しながら早めに職員間で話し合い対応できる状況と情報を共有しながら実践し介護計画の見直しに活かしている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>入居者や家族の希望、ニーズはできるだけ合わせるように意見を出し合い、新しいことができるようにサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>地域の方々やボランティアの訪問には全員で参加したりしながら一緒に楽しみ充実した生活が送られるよう支援している。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>毎月の定期受診に加え、日々の変化にもすぐに対応できるように常にかかりつけ医とは連携をとっている。ちょっとした体調の変化にもすぐに気が付き対応できるように訪問看護事業所やかかりつけ医との関係を密にして迅速な対応ができるよう支援している。</p>	<p>入居時、本人・家族にかかりつけ医を伺っている。殆どの利用者が事業所の協力医がかかりつけ医である。毎月の受診には健康状態を良く知る職員が受診に付き添っている。受診後、家族に報告をしている。訪問歯科や訪問看護事業所は毎週訪問があり、24時間オンコール体制が整っていて安心である。</p>	

自己評価	外部評価	項目(もみじ)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	職員間で共有できる気づきノートを利用し個々の体調管理の上での問題点を拾いあげている。また訪問看護事業所とは日常生活での身体状況を情報共有し適切な看護を受けられるよう支援している。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	訪問看護事業所とは日頃からコミュニケーションを図り、相談を行いやすい環境作りに努めている。また細やかな情報を共有するように協力医療機関や家族とも連携をとり関係づくりを行っている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	常に家族と利用者の意思を尊重することを目標に掲げ、日々の状態の変化、家族の説明を行っている。施設の方針を十分に説明した上で入居者や家族の意向を職員間で把握し支援に取り組んでいる。	看取りはしていない。入居時、本人・家族に事業所として、重度化した時、終末期に向けての方針を十分説明している。職員は急変時の勉強会を機会があるごとに重ね再認識し、主治医や訪問看護事業所と連携を取りながら事業所が出来る最大限の支援に取り組んでいる。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	マニュアルの再確認を行うとともに定期的に急変時の勉強会を行い初期の応急手当や医療機関との連携がすぐに対応ができるように知識向上に努め日々実践力を身につけている。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	定期的に他事業所との連携を取りながら避難訓練を実施している。毎回担当職員を変更し全員が確実に把握できるように努めている。多種ある災害の防災マニュアルの見直しや改善を行い、備品の確認を行いながら適時適切な対応ができるよう地域との協力体制を築いている。	毎月避難訓練を実施している。毎回担当を変える事で全員が確実に把握出来るように努めている。消防署職員立ち合いの下指導を受けている。災害対策委員会を設置し確認をしている。災害時に備えて備蓄品も保管している。自治会長に連絡する事で地域住民の協力体制が築けている。	

自己評価	外部評価	項目(もみじ)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	入居者は人生の大先輩という認識を常に持ち敬う声掛けを心がけている。厳しい言葉使いや幼稚な言葉使いにならないように十分留意し勉強会をしながら職員の質の向上に努め、プライバシーを損ねない対応をしている。	毎月勉強会や研修を実施している。利用者の人格の尊重や誇りやプライバシーを損ねない声掛け、言葉かけが出来るように日常業務の中で十分配慮した対応に努めている。不適切な言葉かけに対して職員間で話し合いをしている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	入居者個人個人とよく会話を行うことで意思や希望をを把握しニーズに応えることができるように職員の意識付けを行い自己決定にできるように働きかけている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	職員は画一的な業務優先にならないよう入居者様目線で働きかけるように維持していくよう努めている。入居者を個々のペースで過ごして頂き意思を聞きながら希望にそって支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	入居者や家族に好みの物を聞き、入居者自身で決定し、季節に応じておしゃれができるよう支援している。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	食事を目で楽しめるように食器を選んで使っている。入居者は個々の能力を活かし下膳やテーブル拭きを行っている。残存能力の維持のため補助具を利用するなどご自身の力で行ってもらっている。	副菜は3食外注を利用している。ご飯、味噌汁は手造りで、個別に形態(トロミ、刻み食)など対応している。パン好きな利用者にはパン食を出したり、利用者と職員と一緒に作るお好み焼き・ホットケーキ、敬老会・誕生日会には家族と一緒に食事会などを行っている。食を通じて楽しみに繋げている。	

自己評価	外部評価	項目(もみじ)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	食事量や形態など個人に合わせて提供し、水分量や食事量を記録し確認しながら体調管理に努め、入居者に応じた支援を行っている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。	訪問歯科と連携し、毎食後の義歯洗浄や歯磨きを行い入居者の能力を活かし困難な方にはお手伝いをしながら口腔ケアを行っている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。	入居者の排泄のリズムを把握しトイレでの排泄を促し自立した生活を送って頂ける支援を行っている。	一人ひとりの排泄記録で排泄リズムが把握ができ、声掛けにも利用者にあった声掛けを行い、トイレでの排泄支援に繋げている。殆どの利用者が紙パンツから布パンツに変わるなど、トイレで排泄出来る自立支援に向けて取り組んでいる。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。	職員は入居者個々の便秘の原因を考え、毎日排便状況をチェックして体を動かしたりお茶や果物など提供して自然排泄を促し予防に取り組んでいる。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている。	体調や精神状態に合わせて注意しながら一人一人ゆっくりと入浴して頂き入居者に入浴するタイミングを聞きながら支援している。	入浴は週2回で、体調面など配慮し無理強いはせず、ゆっくりと入浴して頂けるよう努めている。保湿効果のある入浴剤を使用したり、入浴後保湿クリームを塗るなど、皮膚の乾燥予防にも工夫が見られる。入浴を長く拒まれた利用者も環境を考えるなどして、拒否がなくなり入浴する事が出来た事例がある。	

自己評価	外部評価	項目(もみじ)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々 の状況に応じて、休息したり、安 心して気持ちよく眠れるよう支 援している。</p>	<p>生活習慣を把握し利用者の要望 も踏まえゆっくりと休んで頂ける 環境を作っている。また部屋の湿 度や温度の管理を行いながら良 眠できるよう支援している。</p>		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりを使用している薬の 目的や副作用、用法や用量につ いて理解しており、服薬の支援 と症状の変化の確認に努めてい る。</p>	<p>入居者の医療情報に基づき薬の 作用や副作用が確認できるように している。変更時は申し送りノ ートに記載し情報共有と確認に 努めている。</p>		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過 ごせるように、一人ひとりの生 活歴や力を活かした役割、嗜好 品、楽しみごと、気分転換等の 支援をしている。</p>	<p>入居者の一人一人ができること や希望していることを職員が把 握しお手伝いすることで充実し た生活を送って頂けるよう支 援している。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそ って、戸外に出かけられるよう 支援に努めている。また、普段 は行けないような場所でも、本 人の希望を把握し、家族や地域 の人々と協力しながら出かける ように支援している。</p>	<p>利用者の体調を見ながら散歩を したり隣接施設とのふれあいで 畑で野菜と一緒に作っている。生 活リズムを大切に、家族やボラ ンティアや地域の協力を得なが ら楽しみのある生活を送れる よう支援している。</p>	<p>事業所のベランダに出て、建物 を1周する事で外の空気を肌で 感じたり、山々の四季の変化を 目で見たり感じ取ってもらっ ている。出かける事が少なく なった中で、スーパーに出かけ 、買物やおやつを頂くなど楽 しみに繋がる支援をしている。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つこと の大切さを理解しており、一人 ひとりの希望や力に応じて、お 金を所持したり使えるように支 援している。</p>	<p>入居者が望む生活が継続できる ように家族の了承と協力の上、ご 本人が管理されたり買い物時は ご自身で管理し支払いを自身 ですべて頂くように助言しなが ら支援している。</p>		

自己評価	外部評価	項目(もみじ)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	<p>入居者個々によって電話を取り次いだり、職員が声を掛けながらご自身が管理し連絡を取ることができるよう支援している。</p>		
52	19	<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>季節ごとに職員が入居者に快適な生活が維持できるように支援している。また室内温度を調節し体調管理を行い、居心地よい生活空間を提供し工夫している。</p>	<p>季節ごとの飾り付けがされている。加湿器が設置され、体調管理にも配慮が見られる。机の配置、椅子の高さが調節でき一人ひとりの体型に合うよう配慮し、寛ぎスペースもあって、ゆっくりとひなたぼっこを楽しむ利用者もいる。居心地よく過ごせるよう工夫されている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>共有部分で各自が過ごすスペースを持ちテレビや景色を眺めたり会話ができるようにくつろげる場所を確保できるように居場所を工夫している。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>日常生活の場として安心できるように入居者の思い出のある家具や持ち物を使用し、入居者の思い思いに飾りつけなど落ち着いた雰囲気で居心地よく過ごせるよう工夫している。</p>	<p>暖色系がカーテンや設備品に使われ、温かみのある居室である。利用者の使い慣れた調度品や自分の作品を飾られるなど利用者にとって居心地の良い居室になるよう配慮されている。生活リズムを目で感じてもらえるよう壁面に時計が設置されている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>自立歩行や車いす、歩行器など安全に利用できるようにバリアフリー化され見守りや付き添いを行いながら自立した生活を送れるように工夫している。</p>		

V アウトカム項目(もみじ) ← 左記()内へユニット名を記入願います

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

自己評価	外部評価	項目(さくら)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	理念を共有し、管理者・職員は情報を周知し、統一したケアと入居者一人一人を理解しケア向上の実践につなげている。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	隣接する事業所と連携を図り合同行事や地域住民との交流を持ち地域の移動販売を利用しながら顔見知りのボランティア様と入居者共々交流をしている。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	地域交流や介護者教室への参加で情報を地域住民に向けて活かしている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実績、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	定期的開催し、施設の状況を伝えながら家族様や地域包括支援センターなどの意見や地域の方のアドバイスを参考にし、より良いサービスを目指して改善し向上に努め活かしている。		
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	地域包括支援センターや居宅介護支援事業所と連携し、情報交換を行いながら行事や入居者状況などの案内やお知らせを送付し協力しあえるよう取り組んでいる。		

自己評価	外部評価	項目(さくら)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>毎月の勉強会で具体例を確認し、職員間で話し合い情報を共有している。委員会を設置し研修や勉強会を開催し安心、安全な生活を送って頂けるよう日々取り組んでいる。</p>		
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>	<p>見守りや入居者の状態の観察、心のケアを行うなど安全を確保に努めている。外部研修で学んできたことを職員に周知の為に施設内研修を開催し、身体拘束・虐待防止に努めている。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>成年後見制度の活用で資料やパンフレットを職員間で現在勉強し知識を深めている。行政書士、弁護士の資格を持つ後見人と連携し支援をしている。</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>契約時にはグループホームの趣旨を理解して頂き、家族と十分話し、理解をして頂いたうえで疑問なことや不安なことを丁寧にお伝えしている。身体状況や日常生活について詳しく情報を得て、施設対応やサービスについてご家族、入居者に説明し理解・納得を図っている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>面会時には必ず家族にお声を掛けさせて頂き家族と話す機会を設けている。また毎月の手紙や広報誌を発行し掲載の許可を得たうえで行事や日常生活の様子を報告し運営に反映している。</p>		

自己評価	外部評価	項目(さくら)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>管理者により職員個々に相談事や業務など聞いている。意見や提案がある時はその都度話し合いを行い、入居者により良い生活を送って頂けるように勉強会を行ったり意見を取り入れて反映させている。</p>		
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>職員の希望休を調整したり体調を考慮するなど随時聞き、お互いに協力をしていながらやりがいのある就業ができるように努めている。休憩も現場から離れて行うように職員に声をかけ、職員との話が聞けるように時間を作り相談や意見がより多く設けられるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>		
13		<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	<p>個々の能力を活かし業務がスムーズにいくように連携・協力を求め勉強会を施設外の研修に参加、講師を呼び知識を深めたり先輩職員からの助言もありお互いに共有していき向上できるようトレーニングしている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。</p>	<p>外部研修などに参加し、他施設の方と意見交換や行事参加で入居者同士の交流を持つことでよりサービスの質の向上に取り組んでいる。</p>		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。</p>	<p>入居者の会話から態度や行動からも思いをくみ取りしっかりと会話することで安心して頂いたり不安を取り除くように努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目(さくら)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。</p>	<p>家族の思いを聞き、要望に応じて、不安な思いにならないようにコミュニケーションを図りながら信頼関係作りに努めている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	<p>入居者や家族の話聞きながら病院など関係機関を連携してニーズに対して職員間で共有し適切な対応を考えながら日々対応をしている。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。</p>	<p>職員は言葉使いや態度、行動に留意し生活を共にする者同士として充実した生活を営み信頼関係を深め関係を築いている。</p>		
19		<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。</p>	<p>入居者や家族の意見を適時聞きご家族の行事への参加を促して絆を深め、快適に生活して頂けるように支援方法の改善に取り組み入居者の支えになるよう関係を築いている。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p>	<p>友人や家族の面会時に積極的にお越しいただけるように雰囲気づくり、外出、外泊などの機会を設け信頼関係を構築しプライバシーに配慮しながら関係を維持するよう支援に努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項 目(さくら)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	個々の身体機能に合わせ、入居者同士の関係を把握しご家族や職員が関わり良好な関係が継続できるよう努めている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	ご本人、家族のご様子を医療機関や居宅介護支援事業所などと他の地域や他施設連携し継続して相談や支援に努めている。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	入居者や家族の話聞き、平素の様子から感じ取り希望や意向を把握しその場で解決できることはすぐに実行している。必ず職員間で話を行い本人本位に検討している。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	会話の中でこれまでの生活歴を含め、繰り返しコミュニケーションを図ったり家族の情報や本人の背景、これまでの暮らし方を考慮し一人一人のペースや特質を大事にし経過を把握していくよう努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	日々変化の中今出来ていること、出来ていたことができなくなった時再び取り戻すために職員みんなで検討して現状の機能を維持できるよう把握に努めている。		

自己評価	外部評価	項目(さくら)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>本人、家族の要望を基本に職員、医師や看護師も含めてアドバイスをもらい入居者のできることやニーズを把握し充実した生活を送って頂き現状に即した無理のないプランを作成している。</p>		
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>個別に毎日の様子や変化を記録し、職員間で気づいたこと、向上、改善できるかを申し送りにも記入し話し合っ情報共有し変化があったときは速やかに検討し改善、実践とモニタリングによりプランの見直しに活かしている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>本人のニーズに合わせ、可能な限り多職種連携、福祉用具の活用を取り入れながら協力をしていき充実した生活を送って頂けるよう取り組んでいる。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>隣接している特養に出向き、行事参加をすることで交流を深め、本人の意向や必要性に応じ、買い物や通院などご自宅での生活を感じて頂き地域にできるだけ社会とつながりを持つように支援している。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>入居者様、家族様の希望を取り入れて定期受診や体調不良時の通院を行い、かかりつけ医と訪問看護の相談を受けながら十分な連携をとり家族様と連絡をとり支援している。</p>		

自己評価	外部評価	項 目(さくら)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	看護職員や定期的な訪問看護に加え、体調変化のあった方の状況をその都度電話連絡し対応、相談しながら適切な対応を行い支援している。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院先の病棟に伺い、ご本人の様子を伺い担当看護師に状態を確認し可能な時は主治医と直接話を聞き協力医療機関との関係作りを行っている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	医師や家族、入居者と連携し、施設でできることを家族に理解して頂き入居者にとって最適な支援になるようチームで支援し取り組んでいる。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	入居者の変化に気づけるよう日々の様子を把握し、情報共有しながら職員間で同じ認識をもち緊急時に慌てないように勉強会を行っている。様々なケースのシュミレーションを行い実践力を身につけるように努めている。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	異常気象なども多く地域との連携を含め、非常災害時の食料や物品を揃え職員間で避難訓練や勉強会を行い、その都度見直しを行い協力し合いながら関係や体制を築いている。		

自己評価	外部評価	項 目(さくら)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	個々の人柄や状態に合わせて信頼を作り言葉使いに留意し声かけの対応をしている。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	個々の希望することを理解し日々の生活を把握して興味あるものを職員も一緒に模索して自己決定を働きかけている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	日常生活のリズムを保ちながら無理のないよう状況に合わせて対応するよう希望に沿って支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	入居者に好みを聞きご本人が選べられるように職員も関わり楽しみのある生活が送られるよう支援している。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	盛り付けやメニューによって食器を変えてみたり刻み食やトロミ食を取り入れている。食べにくい入居者には食器や自助具を使用し自力摂取を目指している。配膳や下膳を入居者自身で行って頂くことで残存能力を活かして頂いている。		

自己評価	外部評価	項 目(さくら)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>食事摂取量や水分量を把握している。またバランスを考え食欲不振時にも食事形態を変えるなど自力摂取を維持してもらえよう状態に応じて支援している。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>訪問歯科と連携し、毎食後の歯磨きや口腔ケアを促し口腔内観察を行っている。またご自分で出来る方は自立を促しつつ職員は見守りや仕上げのケアを行い口腔ケアを行っている。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>安易にパットや紙パンツを使用せず、定期的なトイレ誘導や排泄間隔を観察と統計を取りオムツ外しをめざし、自立した排泄を促し支援を行っている。</p>		
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>毎日身体を動かすように体操を取り入れ、マッサージやこまめな水分摂取と果物を提供し便意を促すよう予防に取り組んでいる。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>安全性を考えながら出来る限り今までの習慣に合わせて一人一人ゆったり入浴ができるよう安全に楽しみながら本人と相談し入浴支援を行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項 目(さくら)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々 の状況に応じて、休息したり、安 心して気持ちよく眠れるよう支 援している。	入居者の安らげる空間を作り入 居者の意思を確認しながら各自 のペースに合わせて休息やくつ るぐことができるよう支援して いる。		
47		○服薬支援 一人ひとりを使用している薬の 目的や副作用、用法や用量につ いて理解しており、服薬の支援 と症状の変化の確認に努めてい る。	服薬の内容を知り、職員間で情 報を共有し医師と相談の上、体 調変化に留意し服薬の支援に 努めている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過 ごせるように、一人ひとりの生 活歴や力を活かした役割、嗜好 品、楽しみごと、気分転換等の 支援をしている。	洗濯たたみや洗濯干しなどお手 伝いをしたり、風船バレーや歌、 連想ゲームなど楽しみを持つこ とで気分が晴れ、脳の活性化に つながるなど、楽しみごとなど の支援している。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそ って、戸外に出かけられるよう 支援に努めている。また、普段 は行けないような場所でも、本 人の希望を把握し、家族や地 域の人々と協力しながら出かけ られるように支援している。	出来る限り施設外での散歩や隣 接施設とのふれあいで畑で野菜 を一緒に作っている。食事や買 い物の計画を立て、入居者の 要望を聞きながら地域や家族 とのかかわりを持てるよう支 援している。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つこと の大切さを理解しており、一人 ひとりの希望や力に応じて、お 金を所持したり使えるように支 援している。	入居者の能力に応じてご家族の 了承を得ながら自己管理をして 頂いている。買い物の際はご自 身で考えながらお金を使い責 任をもって使えるように支援し ている。		

自己評価	外部評価	項 目(さくら)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	<p>家族や友人からの手紙や電話の取次ぎなど入居者の楽しみでもあり速やかに対応し支援している。</p>		
52	19	<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>一日の中でリビングで過ごす時間があり、空調や空気がよどまないように換気したり清潔を維持しながら入居者様と一緒に作成した季節感ある飾りを作り楽しみのある空間を作りを工夫している。</p>		
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>リビングで過ごしたりテレビが見やすい位置にソファを設置し共有スペースをみんなで過ごしコミュニケーションをとったり利用者の体調を見ながら自室で過ごすなど居心地よく過ごせるよう配置の工夫している。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>寝具や家具は慣れ親しんだ物を持参していただき利用者の動線に留意して配置し心落ち着くような生活が送られるように工夫している。</p>		
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>自立歩行や車いす、歩行器など安全に利用しできるようにバリアフリー化され見守りや付き添いを行いながら自立した生活を送れるように工夫している。</p>		

V アウトカム項目(さくら) ← 左記()内へユニット名を記入願います			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	<input type="radio"/>	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	①ほぼ全ての職員が ②職員の3分の2くらいが ③職員の3分の1くらいが ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が ②家族等の3分の2くらいが ③家族等の3分の1くらいが ④ほとんどできていない

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 グループホーム高陽荘

作成日 令和2年1月23日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	49	日常的に業務優先になりがちでその時に行かれる外出が思うようになっていない。	気候、体調に応じて外出する機会を増やす。	その日の受診、職員状況により車に乗り買い物、ドライブ、園外散歩をします。	1年程度
2					
3					
4					
5					
6					
7					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。